

令和5年度 事業報告

◆ あじさい園

1. 登録状況

登録者数	障害別			男女別		平均年齢
	知的障害	身体障害	精神障害	男性	女性	
30名	20名	6名	4名	12名	18名	34.4歳

2. 成果・結果

就労支援事業では、クッキー製造事業が以前の状況に戻り、出店販売も再開しました。また、新たなふるさと納税の返礼品としてのトイレットペーパー販売事業が利用者の大きな励みとなり、モチベーションも向上しています。利用者は生産活動に加えて音楽療法や野外活動にも積極的に参加し、楽しんで見られる様子が見られました。さらに、令和5年度には作業工賃の引き上げに成功しました。また、民生委員や地元企業など各方面からの問い合わせも増加し、さまざまな機関との交流が進展しました。職員育成では、計画的な研修プログラムや日々のミーティングの充実を図ることで、専門性の向上も図っています。しかし、今後は製品の品質向上と地域からの評価向上、地元住民や企業との連携強化、販売経路の追加や品質向上による工賃引き上げ、そして財務的課題の解決が必要です。

3. 課題

製品の品質向上と地域からの評価を高めるため、現在の製品と業務内容を徹底的に分析して改善点を見出し、地元住民や企業との連携を強化するために職員全員で必要な取り組みを検討し中長期的な戦略を考えます。また、追加の販売経路の獲得や品質向上に注力し、工賃の引き上げを実現するために、財務的課題と持続可能性についてさらなる検討が必要です。さらに、職員育成では計画的な研修を続け、個々の専門性の向上に注力していきます。



レクリエーション（アルプラザ）



ジャスコフェスタで出店販売

◆ ひより舎

1. 登録状況

登録者数	障害別			男女別		平均年齢
	知的障害	身体障害	精神障害	男性	女性	
24名	12名	4名	8名	13名	11名	53.0歳

2. 成果・結果

毎月定例開催の「ひよりカフェ」は、感染対策を講じながらも続けることができました。テイクアウトをメインとしつつ、利用者のやりがいやモチベーションを維持・向上させる取り組みを行いました。また、お楽しみ事業や野外活動も再開され、多くの利用者が楽しむ姿が見られました。年間の稼働率は安定しており、昨年度と大きな変動はありませんでした。さらに、個別懇談や家族会も例年通り開催し、さまざまな意見を収集する機会を設けました。

3. 課題

感染対策の効果的な実施とテイクアウトメインの運営課題の明確化、さらに利用者のやりがいとモチベーションの維持と向上に注力する必要があります。感染リスク管理と利用者の個別ニーズへの対応を強化していくことも重要です。また、利用者の高齢化や重度化が進む中、生活介護事業の定員拡大や新規利用者の確保など、具体的な体制づくりが急がれます。就労支援事業では、自主事業の販路拡大や地域への広報、利用者の工賃維持などの取り組みをさらに進める必要があります。



生活介護プログラムで手作りすごろくを作成し、みんなで楽しむ（京都とっておきの芸術祭にすごろくを出展）



南丹市ボランティア交流会で出店販売

令和6年度 事業計画

◆ あじさい園

[就労継続支援 B 型事業]

1. 働く環境での基本的なマナーやスキルを身につけるために、あいさつや返事、相談、意思表示などをサポートし、定期的なモニタリングを通じて習得状況を確認する。
2. 一般就労と新規利用者の受け入れを循環的に実現する仕組みを構築していきます。モニタリングなどを通じて一般就労への意欲を確認し、希望者は関連機関と連携する。また、就労した人の相談サポートも行う。

[生活介護事業]

一人ひとりのリズムやペースを尊重する。作業や創作的な活動、そして好きなことに取り組むことで、その方に合った安心で充実した一日を過ごせるようにサポートする。

[両事業共通事項]

■ 利用者支援の強化

1. 関係機関との連携強化 家族や関係機関との連携を強化し、利用者の生活の質向上につなげる。
2. 日常生活スキルの訓練 利用者が自立した生活を送るために必要な日常生活スキルを訓練する。
3. コミュニケーションスキルの向上 利用者が他の人とコミュニケーションをとるためのスキルを向上させるプログラムを提供する。
4. レクリエーションと社会活動の促進 利用者が楽しみながら社会参加を促進するために、レクリエーションプログラムや社会活動に参加する機会を提供する。

■ 生産活動の更なる充実

1. 生産ラインの改善 生産活動を効率化するために、生産ラインや作業プロセスの改善を行う。
2. 品質管理の強化 製品やサービスの品質を向上させるために、品質管理システムを導入し、品質の確保と品質向上に取り組む。
3. 新商品の開発 新しい商品やサービスの開発に取り組み、市場ニーズに応える製品を提供する。
4. 労働力のスキルアップ 利用者の能力や技術を向上させるために、継続的なトレーニングプログラムを提供する。
5. パートナーシップの構築 地域の企業や団体とのパートナーシップを構築し、生産活動の拡大や市場へのアクセスを支援する。

◆ ひより舎

[就労継続支援B型事業]

1. 商品の品質向上と新規販売先の獲得に努め、就労支援事業の収入増加を目指す。
2. 利用者が仕事に取り組む中で、やりがいや自信、そして誇りを感じられるよう支援の内容を充実させ、個々のスキルがさらに成長するよう努める。

[生活介護事業]

利用者の日常生活を豊かにするために、各関係機関との連携を強化する。同時に、モニタリングやアセスメントを強化し、支援内容の充実を図る。

[両事業共通事項]

■ 事業運営の安定

1. カフェ事業をはじめ、地域との関わりを強化するために、さまざまな事業に取り組んでいく。
2. 新規利用者の受け入れを含め、年間を通じて安定した利用率の確保を目指す。

■ 利用者支援の強化

1. 多様化するニーズに柔軟に対応できるよう、チームの支援力を強化する。定例会議で支援内容を共有し、全職員が利用者の支援計画を把握する。
2. 関係者のネットワークをさらに充実させ、支援の範囲を拡大していく。